

# 会 議 録

(7-1)

会議の名称		第12回 春日部市公共事業評価監視委員会		
開催日時		令和5年12月19日(火)	開 会	午前10時00分
			閉 会	午後 0時00分
開催場所		WEB会議（アイピー春日部ビル7階 小会議室）		
議長(会長等)氏名		藤江 昌嗣		
出席者	委員氏名	(出席人数：5人) 實方 理佐、高橋 進、寺部 慎太郎、藤江 昌嗣、前田 英寿		
	説明者	(出席人数：2人) 建設部河川課長 浅野 真吾 都市整備部都市計画課中心市街地担当主幹 山田 耕範		
	事務局	(出席人数：4人) 都市整備部次長兼都市計画課長 福井 聖士 都市計画課都市計画・景観担当主幹 楨野 伸一郎 都市計画課都市計画・景観担当主任 平野 達郎 都市計画課都市計画・景観担当技師 糟谷 直樹		
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		議事（全て公開） 審議事項 議案第1号 防整備計画「春日部市災害につよい街づくり（重点計画）」の事後評価について 議案第2号 都市再生整備計画「春日部駅周辺中心市街地地区」について		
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：		
配布資料		・会議次第・委員名簿・依頼文の写し・審議資料・参考資料・説明資料		
会議録の作製方法		■ 録音テープ等を使用した要点記録		
会議録署名の指定		会長及び会長が指名した委員1名が署名するものとする。		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p><b>1. 開会</b></p> <p>WEB 会議における注意点 資料の確認 委員会の成立報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の出席委員は5名で、春日部市公共事業評価監視委員会要綱第6条第2項の規定による定数に達しており、当委員会が成立していることを報告</li> </ul> <p>福井次長挨拶</p>
議長	<p>議長挨拶</p> <p>個人情報が含まれていないため、審議事項について公開とすることの確認</p>
委員	<p>— 異議なし —</p>
議長	<p>傍聴人及び報道関係者不在の報告</p> <p>議事録署名人に実方委員を指名</p>
	<p><b>2. 議事</b></p> <p><b>審議事項</b></p> <p><b>議案第1号 防整備計画「春日部市災害につよい街づくり（重点計画）」の事後評価について</b></p>
議長	<p>審議事項について担当課に説明を依頼</p>
事務局	<p>意見照会文朗読</p>
説明者	<p>— 資料に基づき審議事項について説明 —</p> <p>主な説明内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防整備計画「春日部市災害につよい街づくり（重点計画）」の事後評価について</li> </ul>
委員	<p>[質疑応答・意見]</p> <p>春日部市域における、近年の内水被害の状況と、本事業の対象施設の整備による被害の防止あるいは軽減の事例などを説明いただきたい。</p>
説明者	<p>近年の内水被害については、令和5年6月の台風2号の際に、床上浸水9軒、床下浸水は約180件の被害が生じている。</p> <p>具体的な数値では示されないものの、近隣市よりも被害が少ないことから、施設整備により改善が図られているものと考えている。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	地震対策について、引き続き行うとのことであるが、本議案で審議している事業とは別に、同様の補助制度等を用いて、今後も地震対策を継続される予定か。
説明者	本議案で活用した補助制度とは種類が異なるが、今後も国からの個別補助を用いて、地震対策を進める予定である。
委員	意見となるが、雨水対策においては、都市内緑地・農地との連携等、都市計画やまちづくりの観点との整合を図った方が良いと思われる。
説明者	委員ご指摘のとおり、都市計画・まちづくりの施策と治水対策は並行して進めるべきと考えている。
委員	本事業による施設整備により、ハザードマップで公開している浸水状況に変化はあるか。あるいは、被災確率が変わることは想定しているか。
説明者	<p>現在公開されている、河川氾濫に伴う浸水ハザードマップの状況は、本事業によるポンプ場施設整備を行った場合でも変化はない。</p> <p>一方で、公共下水道会之堀川の整備効果は内水氾濫の軽減であるが、現時点で浸水ハザードマップへの反映はされていない。</p> <p>ただし、浸水シミュレーション解析により浸水被害の軽減を確認しており、効果はあると考えている。</p>
委員	ポンプ場施設の耐震化や、ポンプ設備の更新については、排水能力は変わらずに、長寿命化をしたという認識でよいか。
説明者	委員の認識で問題ない。
議長	審議が終了したため、本議案は妥当であるとし、各委員からの意見を付け加えて、具申を行う。
委員	<p>— 異議なし —</p> <p>第1号議案を承認</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p><b>審議事項</b>  <b>議案第2号 都市再生整備計画「春日部駅周辺中心市街地地区」について</b></p>
議長	審議事項について担当課に説明を依頼
事務局	意見照会文朗読
説明者	— 資料に基づき審議事項について説明 —
	<p>主な説明内容  ・都市再生整備計画「春日部駅周辺中心市街地地区」について</p>
委員	〔質疑応答・意見〕
	大目標にある「公民連携+学」は、目標を実現するための手段ではないか。
説明者	本事業は基盤整備が主な内容となるが、官民連携の取組みを組込むという市の意思表示を行うためにも、大目標に掲げている。
委員	大目標については、現在の内容に加えて、目指すべきまちづくり像の輪郭がはっきりとするような目標設定を行うべきではないか。例えば、「公民連携+学」で止めるのではなく、春日部駅周辺の魅力や活力の向上が図られるということを含めてはどうか。
説明者	委員からのご指摘を踏まえて検討する。
委員	指標については、商業売上の高まりや一定のエリアでの人口増加等を設定することは考えられないか。
説明者	人口については、全国的な推計で減少し、当市も例外ではなく、定住人口施策については、市全域で進めていくものと考えている。本事業においては、対象である中心市街地の特性（2路線が交差する春日部駅）を活かし、交流人口を増やすことを主眼としている。
委員	公園利用者数について、指標設定にあたっての検討経緯を教えてほしい。
説明者	指標にある500平方メートル以上の公園については、現市役所を今後解体し、中央町第一公園として整備することで、7か所から8か所に公園数が増加することにより、利用者数の増加が見込まれるため、目標を「微増」と設定をしたという経緯がある。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	指標において、現状維持としている項目があるが、人口増加、利用者増加など、本事業による効果発現は期待できないのか。
説明者	<p>本事業は、計画期間を2期、10年にわたり設定しており、本委員会で審議している内容は、第1期（前期5年）にあたる。</p> <p>計画している事業の多くは、完成が第2期に設定されているため、事業効果の発現までには時間を要する。</p> <p>このことから、第1期の計画では現状維持としており、第2期の計画の際には、第1期の状況を反映させた指標設定を行う予定である。</p>
委員	地球温暖化やSDGsの観点は、まちづくりに含まれているか。
説明者	本市としては、市全体の取組みとしてゼロカーボンシティやSDGsに対する検討を進めていくこととしており、本事業においてその内容を具体的に列記はしていない。今後のまちづくり全体の取組みとして実施していくことをご理解いただきたい。
委員	関連事業である市街地再開発事業については、事業の見通しがあれば参考に教えてほしい。
説明者	<p>大規模な施行区域を計画していたことや建設費の高騰等を受け、権利者の意向を踏まえつつ、事業区域を細分化し、段階的に事業を進めるよう計画を修正している。</p> <p>そのため、具体的な事業の見通しは立ちにくい状況である。</p>
委員	駅周辺の基盤整備が進めば、歩行者通行量の増加等も想定されるが、公民連携のもと、回遊性を高めるための検討や考え方があれば教えてほしい。
説明者	再開発を含めたエリア整備、駅前広場や高架下空間の活用、春日部駅北側の大落古利根川沿いの河川空間の活用等、公共的空間を活用するとともに、市民とも協同で、人が回遊するよう検討をしている。
委員	<p>他市の事例でもあるが、新型コロナウイルス感染症の流行前後で、社会構造に変化が生じ、事業計画に影響が及ぶことは想定される。</p> <p>指標設定にあたっては、外的要因に対応できるように設定することも必要と考える。</p>
議長	審議が終了したため、本議案は妥当であるとし、各委員からの意見を付け加えて、具申を行う。
委員	— 異議なし — 第2号議案を承認

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	《 具申文案作成のため10分間休憩 》
議長	具申文案の朗読を事務局に依頼
事務局	具申文案を表示し、朗読
議長	具申文案をもって市長あて答申することについて確認
委員	— 異議なしの声 —
	具申文案を承認
議長	議事が終了したため議長の職を解く
	<b>3. 閉会</b>
事務局	閉会宣言 — 散会 —

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和5年1月25日</p> <p>署名者の職・氏名</p> <p>会 長 藤江 昌嗣 (原本は自署)</p> <p>委 員 實方 理佐 (原本は自署)</p>	